

図書館 コーナー



～新着図書～

続 法医学教室の午後
(西村興一著・朝日新聞社)

解剖台に横たえられた物言えぬ死体から事件の背後に秘められた真相を求めてメスを握る法医学者。その眼には死体に刻みとめられた様々な人間模様が映しだされる。法医学者で神奈川県警の監察医を務める著者が、生者と死者とが織り成す人生ドラマをヒューマンな態度で綴ったドキュメンタリーエッセイ。

＜一般書＞

- ◇源氏の恋文(尾崎左永子著)◇ウォークライ(笠原淳著)◇大地震に遭った子どもたち(清水賢二他著)◇台詞の風景(別役実著)◇日々の過ぎ方(堀田善衛著)◇40歳からの運転免許(坂田巖山著)◇国連ビルの窓から(明石康著)◇高原鉄道殺人事件(西村京太郎著)◇夢を食いつづけた男(植木等著)◇ネズミ・シラミ・文明(ハンス・ジンサー著)◇ピーターパン・シンドローム(ダン・カイリー著)◇検死官(トーマス野口、ジョセフ・ディモナ著)◇小説フロイトI(アーヴィング・ストーン著)

＜児童書＞

- ◇女の子と男の子の本 全5巻(小形桜子他文)◇ゆうびんサクタ山へいく(いぬいとみこ作)◇ぼく日本人なの?(手島悠介文)◇ちびねこミッシェル(東君平文)◇お父さんのかさはこの子です(山下明生文)ほか

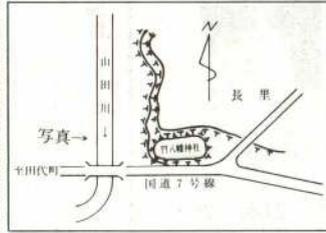
※毎週金曜午後3時は親子で「読み聞かせ会」へどうぞ。(中央図書館☎42～2525)

大館の歴史散歩

③

川口館跡

川口集落、西はずれ、国道七号線端の八幡神社の座す高台が館跡である。館跡の西側直下を南流する山田川が、館西側の天然の濠となっていて、郭上面は社地のため剝削整地されているが、北側の空



▲秋北バス下川口停留所下車 徒歩3分◎目標・八幡神社

堀の保存状態は良好である。館跡は現況で東西約八〇m、南北約五〇mを測るが、南側は国道開設の際に削り取られている。川口館は大館盆地の西口要部にあり米代川沿いの交通路及び山田川を遡る交通路の要衝地に位置する。

この館は、「浅利興市侍分限」によると、佐藤兵助の居館で「郷村史略」に「此村は佐藤兵助と云者開基の村也 古城 佐藤兵助が居住也 百姓ニ下りて城に八幡を勧請す(中略)慶長七年より百姓と成一村開発して肝煎と成(中略)一村彼が別家という旧家なり」とあって、佐藤兵助が慶長七年(一六〇二)百姓に下る際、館跡に勧請したのが現在の八幡神社であること



山田川から見た川口館跡

を知ることができるといえる。慶長二年の「浅利頼平村数覚」には「山田河口田島家五」とある。館跡付近一帯は長里の小字名を残し「郷村史略」の佐藤兵助による開発の記録や「浅利頼平村数覚」の記録から、川口村の開発は佐藤兵助と一族によって川口館を拠点に始められたことを知ることが出来る。なお佐藤兵助の子孫である佐藤氏は、現在も館跡の北側に住み古文書類などの貴重な史料を伝えている(大館市史編さん室)

施設めぐり

今年度第1回目の「施設めぐり」を実施します。市の施設や産業をあなたの目で確かめませんか。

日時・6月26日午前9時市役所前 出発。(午前8時40分まで集合)

募集人員・Aコース 100名

- 文化会館、長根山運動公園、山館浄水場、軽井沢福祉園、市民の森、工業団地、広域交流センター、中央図書館、広域環境センター、卸売市場

・Bコース 100名

- 文化会館、長根山運動公園、少年自然の家、曲田聖堂、市民の森、安藤昌益の墓、山館浄水場、広域交流センター、中央図書館、鳥潟会館

申込み・6月22日午前9時から、市民生活課でA・Bコース別に受け付けしますので直接か電話で申込んでください。

☎49-3111 内線214

その他・当日は昼食、雨具などを持参してください。

われらサークル仲間

ヨガサークル

ヨガは、約五千年前にインドで生まれた体操で、からだの健康だけではなく、心までもおらかになる体操として、現在多くの方々が愛好されています。

中央公民館でも、二年前市民学校



No. 3

として「ヨガ教室」を開設、講座終了後に自主サークルとして独立して現在にいたっています。

同サークルは、30代から60代までの女性約三十名が参加しており、毎週金曜日午前10時が例会日です。ヨガの体操には、病気の予防や体型をよくするためのポーズがたくさんあります。たとえば、背骨の柔軟、腎臓結石の予防のために「コブラのポーズ」とか、足のかたちをよくしたり、記憶力をつけるための「木のポーズ」などがあります。

一週間に一回の練習なので、それぞれ家へ帰ってから基本ポーズから応用ポーズまで繰り返し練習をしています。しかし、「練習している姿勢はともはずかしくて主人には見せられない」と話す会員も。

それでもヨガをやることにより「便秘する体質だったのが直った」とか「体の調子がたいへんよくなった」と評判は上々です。

ヨガサークルに参加したい方は、稲垣恵子さんへご連絡ください。(☎49-3552)